



出版界唯一の専門紙

増収増益の決算

光和コンピューター

創業30周年 寺川社長が報告

光和コンピューターの第29期決算(H30・9・1〜R1・8・31)が増収増益となった。昨年12月23日、東京・千代田区の出版クラブで行った忘年会で、同社の寺川光男社長が報告した。売上高と利益が目標に達し、財務内容も強化されたという。

同社長はさらに、昨年2月は同社の株式10%を保有していた紀伊國屋書店がその出資比率を21・4%にまで拡大して、資本関係を強化。同4月に

はキャッシュレス端末の「PAY GATE S tation」の販売を開始するなど、昨年のエポックを振り返った。創業30周年を迎えた同社は昨年9月、社内プロジェクト「光和Next

30」を立ち上げ、次の30年に向けて企業を継続・発展させるための組織づくりを検討し始めている。寺川社長は「『組織・人の潜在能力は偉大である』を合言葉にして、次世代を担う役員や各部門責任者と週1回のペーシングで話し合いを進めている」と伝えた。

続いて、同社の柴崎和博取締役は、創業当時を回顧しながら、「少しは

この業界で必要とされる会社になれたような気がします。これからも出版

社や書店に貢献できるように努めます」と挨拶した。

当日は同社社員、関係会社、協力会社など約90人が出席した。